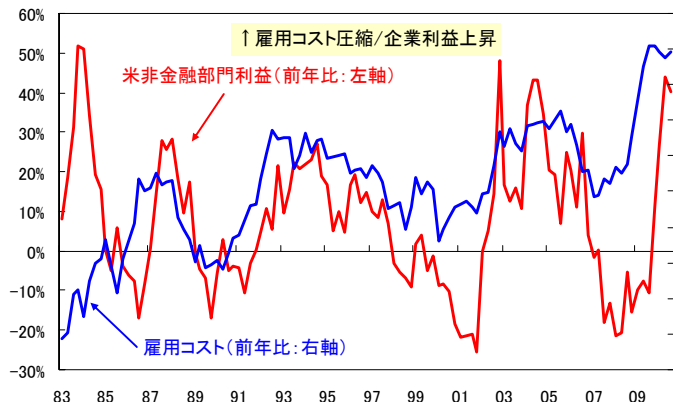


米国株式市場について

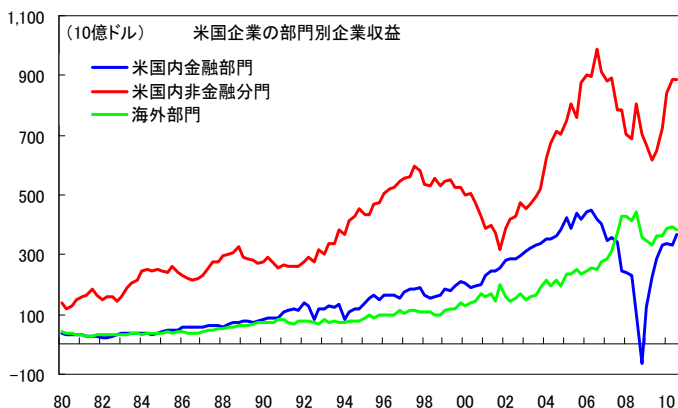
- ✓ 米国企業収益は好調であり、株価はこれを健全に反映している状況。
- ✓ 当面、堅調推移が予想される。

●米国株式市場(NYダウ)は、2008年6月以来の高値を示現していますが、その背景の一つには好調な企業収益が挙げられます(図表①)。その内、金融部門の収益回復には、米国金融当局の資産購入を受けた金融資産の値上がり、および、これを通じたトレーディング益の回復や、大幅な金融緩和による調達・運用利ざやの拡大が貢献しました。非金融部門では、雇用コストの徹底した圧縮が奏効した模様です(図表②)。海外部門は、高い経済成長を続けているエマージング諸国向け輸出の伸びが貢献しました。図表③を見ると、海外部門の収益が先進諸国株(米国除く)との相対比較で高い伸びとなっているエマージング諸国の株価と連動し、上昇していることがわかります。

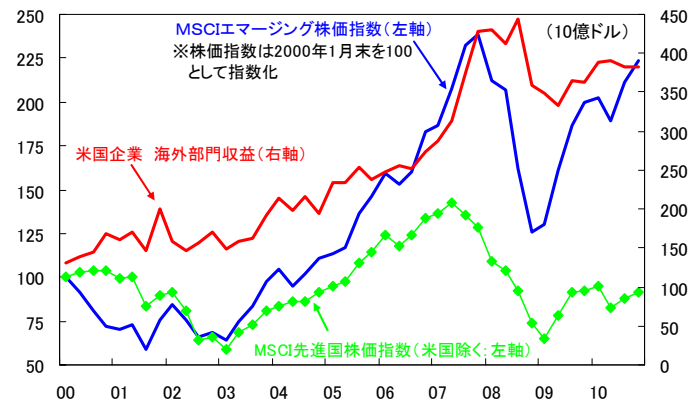
【図表②】



【図表①】



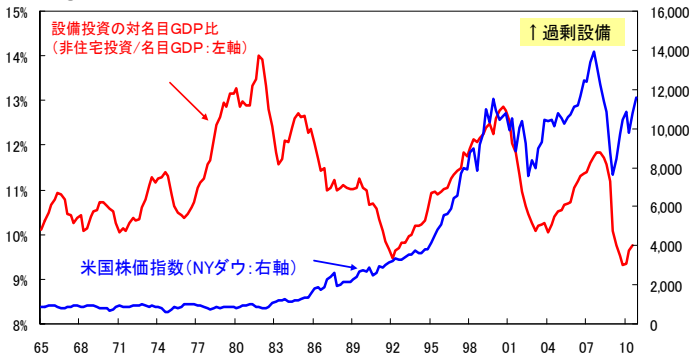
【図表③】



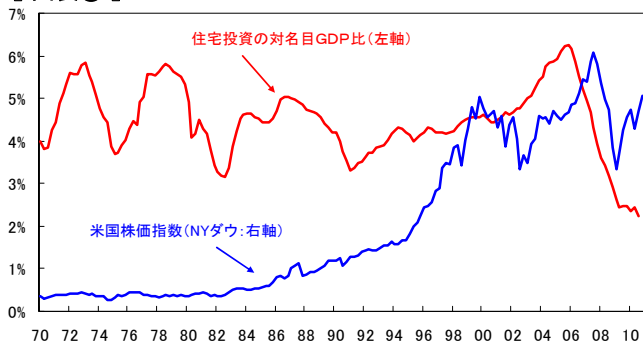
●過去、設備投資や住宅投資が経済規模に対して過剰となった局面では、その反動も含め、その後、米国株の反落が観測されました。また、個人の金融資産価値が経済規模に対して過剰に上昇した局面でも、後に米国株の反落につながりました(図表④⑤⑥)。

●上述の観点で現在の米国経済を見る限り、株価の反落を招くような「過剰」は見当たりません(図表④⑤⑥)。むしろ、設備投資、住宅投資ともに過去の水準と比べても低位にあります(図表④⑤)。また、個人の金融資産価値も過去に株価が反落した水準(図表⑥緑点線)に到達していません。「過剰」のない健全な経済環境の中、好調な企業収益を背景に当面は、株価の堅調推移を予想します。

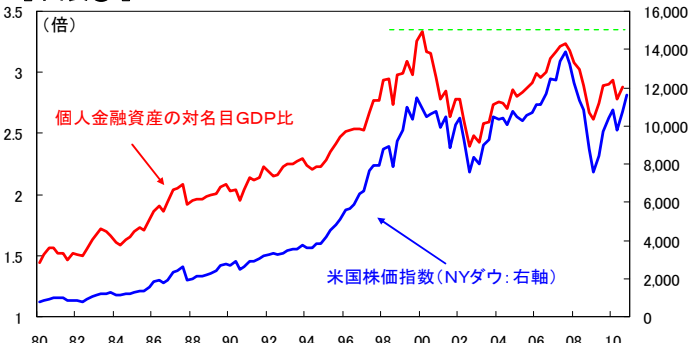
【図表④】



【図表⑤】



【図表⑥】



出所: 図表⑥はFRB、その他は全てブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
〈審査確認番号H22-TB184〉